



天気予報などのラジオの原稿読みに挑戦

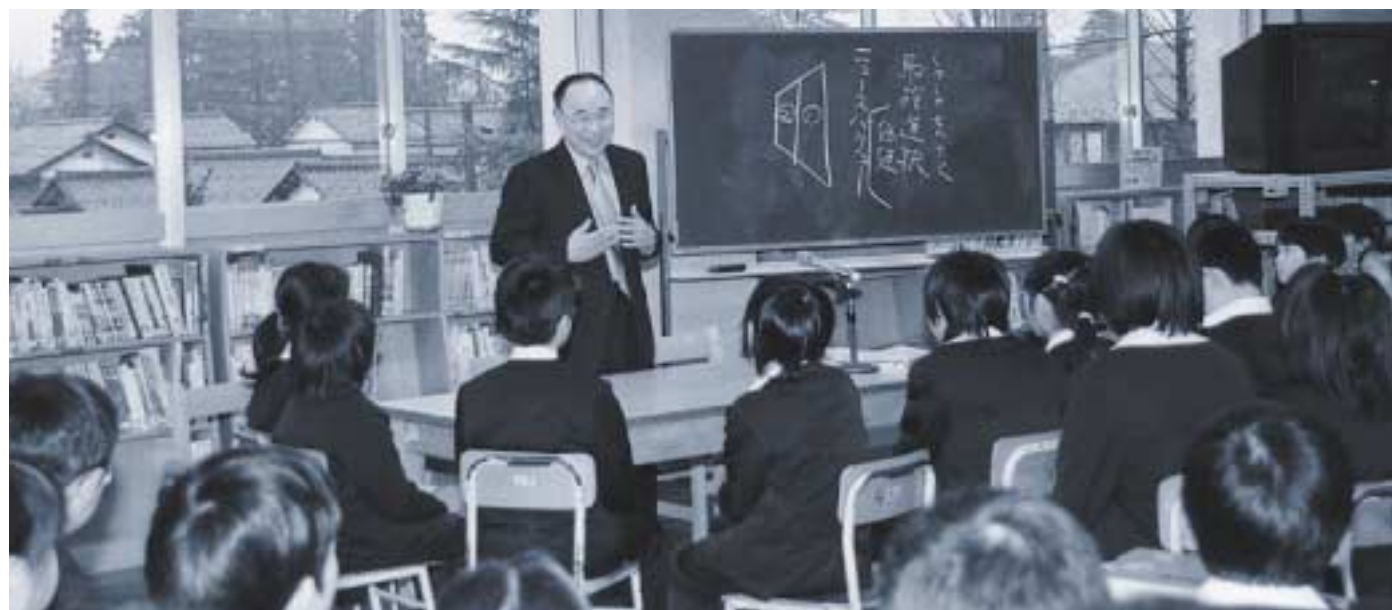
森本曜子さん

(タレント)

福井市出身の森本さんは、文殊小学校を卒業。現在は主にラジオパーソナリティーとして、中京方面で活躍されています。タレントや歌手などになりたいという子ども時代の夢は、あきらめずに努力すれば、必ず実現すると語りかけていました。



放送業界の話など仕事の魅力を紹介



情報も取捨選択する手法が大切

下 / 新聞は見出しで内容がわかる

小田貞夫さん

(十文字学園女子大学教授)

小学2年生から高校卒業まで武生市で育った小田さん。母校の武生西小学校を訪ね、NHKの報道の第一線で働いていた経験を語りながら、情報を的確に伝える大切さを語りました。



県では、県外で活躍している本県ゆかりの著名人を「福井ふるさと大使」に委嘱し、福井県のPRに「役買っていただいています」。

「福井ふるさと大使」の活動は、県外での福井県のPRばかりではありません。出身地の小学校で後輩たちに自分たちの経験、外から見た福井を伝える特別授業「福井ふるさと大使二十一世紀塾」で活躍しています。

特別授業を通じて、大使の皆さんは、未来を担う子供たちに夢や希望を持つことの大切さを語りかけています。また、子供たちに、自分たちが暮らす福井の良さに気付いてもらおうと福井の魅力を伝えていきます。

この二十一世紀塾は平成十一年度から実施されているもので、今年度は、川崎雅弘さん(文部科学省宇宙開発委員会委員)が、昨年十月十五日に金津町金津東小学校で、「今、日本の宇宙開発は」と題して、宇宙へ挑戦することの感動や宇宙と私たちの生活とのこれからのかわりあいを語りかけた授業を皮切りに、湊川忠晃さん、森本曜子さん、小田貞夫さんに授業を行っていただきました。

また、二月五日には、小川誠子さん(囲碁棋士)に福井市松本小学校で「楽しく囲碁を学んでみよう」と題して、授業を行っていただきました。

湊川忠晃さん

(大相撲親方・元小結大徹)

大野市出身の湊川親方が、母校の上庄小学校を訪れ、現役時代は、他の関取よりも倍のけいこを積んできた苦労話や、福井には米や水、空気など、おいしさを自慢できるものがいっぱいあることを熱心に語りかけていました。



勝負は最後まであきらめないことが肝心



しこの踏み方などの簡単な実技指導